

ろくおん通信

2 月号

第6号 1987. 2. 10発行

盲人情報文化センター
録音製作係

音声化とは？

工藤 和子

昭和62年の初夢・大きな仏像をかかえて海辺らしき所を歩いている、砂に足をとられてよろよろしている私。「仏像流却(帰)」をどう読み下そうか一寸迷って年越しをした故で、初夢でまで悩んでいると可笑しくなりました。

録音図書を作り始めて十五年余り、試行錯誤は勿論、自信喪失・病気で挫折も何回か。子育て完了を機に徹底的に視覚障害者を対象とした朗読の基礎を勉強したいとICCBのテープ製作に参加するようになりました。何故に「音声訳」でなくではいけないのか、幾分の抵抗を感じない訳でもなかった言葉の意味を把握しました。

歴史、医学、科学、私の音訳した本に関する限り読者のお便りは図・写真に関してのこと。つい先日、ある視障の方の、何から何まで説明して下さいと云い

にくいけれど、どこにどんな事が書いてあるのか全部知りたいんですよとの話に、益々、全てを音声化することの必要性和責任を感じることになりました。

図、写真等の説明は音訳者の主観に頼ることが大ですから、言葉の使い方一つで思いがけない想像をすることになってしまいます。書いた原稿を読んで聴いて貰い、復元する、それが原因とあまりに差があれば補正してより正確に近づけて行くと云う方法などをとるのですが、時間がかかります。

以前にリハビリ体操のイラスト図の説明で、立ってするものと思い込み、またなでる動作を叩くと説明し、とんでもない間違いであることを確認した苦い経験があります。よくまあ校正者が気づいて下さったもの。それにしても70歳ほどの動作の説明を訂正する困難さ。質のよい

ソーステープが出来る筈がありません。

四年前にペア録音を始めて、このとんでもない思い違いミスはなくなりました。ペア録音も、お互いの本を共に下読みし、充分に打ち合せして作業を開始しなければ、モニターの役を果たすだけで、意味がないように思います。

一本のテープは音訳・校正・編集の三過程を経て完成させる共同作業ですが、その一所で処理できるものではなく、毎度音訳者のもとに戻ってきますから四行程、五行程になることがあります。元が生身の肉声ですから当り前のこととは思いますが。私自身朗読技術の稚拙さがいつになったら進歩するのかと少々あせりを

感じているのですが、音訳の段階で微妙な心の動きが正直に声に表われてしまいます。良いソーステープを作るには音訳者も自信をもって対処すべきで、下調べは云うに及ばず、音訳から編集までの関係者が意見を交換し調整して録音に着手できたら、各々の作業がし易いと思います。また、校正者・編集者はその分担作業の中に音訳者を育てて行く養素が確かに含まれていると思います。

お互いに持っている技術を可能な限り駆使し、より正確な、聴き易い、高度な録音図書を製作して行くよう勉強し続ける努力をして行きましょう。

医学用語について (その4)

重村 敏夫

(E) 身体の部分についての用語

鋸状縁 (きょじょうえん)

果間窟 (かかんか)

外側上顎 (がいそくじょうか)

梨状前回 (りじょうぜんかい)

喉頭蓋 (こうとうがい)

外眼角 (がいがんかく)

下小脳脚 (かしょうのうきやく)

頬骨弓 (きょうこつぎゆう)

腸骨棘 (ちようこつぎよく)

関節腔 (かんせつくう)

解剖頸 (かいぼうけい)

肋間隙 (ろっかんげき)

咽頭口 (いんとうこう)

内耳孔 (ないじこう)

横後頭溝 (おうこうとうこう)

神経膠 (しんけいこう)

巽突鉤 (よくとつこう)

椎弓根 (ついきゅうこん)

海馬采 (かいばさい)

結合織 (けつごうしき)

骨盤軸 (こつばんじく)

脳梁膝 (のうりょうしつ)
髄 鞘 (ずいしょう)
声帯唇 (せいたいしん)
口蓋垂 (こうがいすい)
小脳小舌 (しょうのうしょうぜつ)
蝸牛窓 (かぎゅうそう)
脈絡叢 (みやくらくそう)
楔状束 (けつじょうそく)
後鞭柱 (こうすうちゅう)
靜脈洞 (じょうみやくどう)
休憩囊 (きゅうけいのう)
後髓帆 (こうずいはん)
胸骨柄 (きょうこつへい)
頸動脈壁 (けいどうみやくへき)
大 網 (だいもう)
嗅房野 (きゅうぼうや)
鼻甲介種 (びこうかいりょう)
動脈瘤 (どうみやくりゅう)
後頭鱧 (こうとうりん)
眼窩裂 (がんかれつ)
播延髓 (きょうえんずい)
ランゲルハンス氏島 (とう)
胃圧痕 (いあつこん)
蝶節陥凹 (ちょうしかんおう)
下鼻甲介 (かびこうかい)
手綱交連 (たづなこうれん)
矢状縫合 (しじょうほうごう)

(F) 難読と思われる一般用語

(あ行)

暖氣 (あいき)、赤痣 (あかあざ)
赤斑蚊 (あかまだらか)
秋疫 (あきやみ)
足痛風 (あしつうふう)
軋齒 (あし)、後産 (あとざん)
後作用 (あとさよう)
鞍関節 (あんかんせつ)
暗視野 (あんしや)
頭突起 (いとつき)、閾値 (いきち)
易損性 (いそんせい)
咽後炎 (いんごえん)
暈輪 (うんりん)、齧齒 (うし)
烏啄窩 (うたくか)
譫言 (うわごと)
銳匙 (えいし)、腋窩 (えきか)
壊死 (えし)、壊疽 (えそ)
胞衣 (えな)、嚥下 (えんげ)
猿手 (えんしゅ、さるて)
円背 (えんぱい)
嘔氣 (おうき)、黄体 (おうたい)
横縫合 (おうほうごう)
悪心 (おしん)、悪露 (おろ)

(以下次号)

☆2月の月例録音研究会のご報告

1987年3月予定

2月21日(水)の録音研究会では、12月号の「ろくおん通信」に掲載された、人体の各部の名称一覧を使い、実際にその場所がどこに当たるかを人体図を見ながら一つひとつ確認していきました。普段、私達が思っている場所と医学的な部位との違いがある事なども分かりました。人体図の説明にも役立つと思いますので、人体図表とその名称をつけたものを作製し、後日「ろくおん通信」に付けて皆さんに配布する予定です。

3.3	(火)	13:30~
3.7	(土)	13:30~
3.10	(火)	16:00~
3.11	(水)	13:30~
3.17	(火)	13:30~
3.24	(火)	13:30~
3.25	(水)	16:00~
3.28	(土)	13:30~
3.31	(火)	13:30~

☆3月の月例会のご案内

3月の月例会の日程は次の通りです。

・月例音訳技術研究会

3月10日(火) 13:30~15:30

・月例録音研究会

都合により3月はお休みさせていただきます。

☆個人ケアについて

新しい本(蔵書、リクエスト図書)の録音にとりかかる前に、個人ケアを受けていただくようお願いしております。時間は1人30分~1時間程度です。予約は電話で出来ますので係までご相談下さい。3月の予定は下記の通りです。

◎昨年も年の瀬の夢を買いました。

前二回、あまりにも当たりませんでしたので今回はひそやかにピンを置きました。集まったお金は4,072円。端数は募金ピンに廻し、ジュース代の差益の中から2,000円いただき、合計20枚に望みを託しました。

結果は美事、大枚千円也。お目当ての八千万円、たったの5本では当たるのは夢の又夢というもの。さて本年の夢は如何致しましょうか。

何はともあれ御協力の程有難うございました。

尚、千円も募金ピンに寄付しました。

年末ジャンボクジ 有志